

羽田の独鉦水

昔 夏の盛りの中で 風はそよらともせず、山道を歩く坊様達の衣は汗をにじませていたとサ羽田へと入ってきた 円仁さまは立ち止まったと「今年の渴きようは いすこも同じじやが・・・」

辺りは山に囲まれて 水の湧く所はどこにもなかったと

足元の田も畑も からからに渴いていてナ 出戸から 広戸へとゆるやかに上ってくる

杉木立はしんとして 草のいきおいもなかったと 周りの農家の困る様子が 見えるようであったとサ 飲み水が無くて 病人でもでたらどうなるのかとナ

円仁さまは羽田の山道で 何やら一心に念じ始めた

声が木立をぬけたその時 一気に独鉦を振り下ろしたと

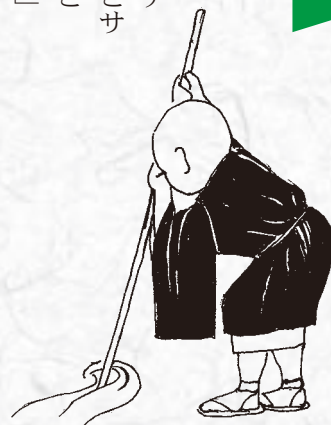
すると足元の山肌から 水がこんこんとあふれ出てナ 沁み出た水は 広戸から出戸へと田をうるおしていったと

水はこの辺りの村を救い 羽田のとっこせとよばれたとサ

今の世になつて この里生まれの人がお金をはたいてナ 円仁さまの辿った 山里の道を整備して駐車場を作り 訪れてくる人たちを迎え入れようと随所に心を配ったと

かつては円仁さまが 羽田の水枯れを救ったように 今 羽田で育った人が 円仁さまの心を伝えたんだとサ

おしまい



絵：美寿々すみ子さん

このコーナーでは、「いわふねの民話集」（発行：民話美寿々会いわふね）から隔月に一話、岩舟に伝わる民話を紹介します。

大人だけでなく、子どもにも楽しめるお話です。ぜひ、お子さんにも読み聞かせてあげてください。

お く や み

(9月21日から10月20日) (敬称略)

本 橋 規理子 (85歳・本郷)
 斧 澤 信子 (77歳・新里宿)
 新 初 房一 (64歳・宿下東)
 小 林 ミツ (92歳・茂呂新田)
 小 島 玄次 (79歳・鷺巢)
 葛 生 文子 (78歳・本郷)
 永 島 クニ (84歳・赤羽根)
 川原井 富壽 (85歳・茂呂新田)
 町 田 ヤマジ (85歳・宿上西)
 針 谷 利男 (80歳・茂呂八郎士)

※この欄は、ご家族の承諾を得られた方を掲載しています。掲載については、毎月20日ごろ電話でご連絡します。

耳の聞こえ・補聴器・難聴者の相談会

■日時…11月29日(日)

午後1時から午後4時(受付は3時まで)

■会場…佐野市市民活動センター

佐野市大橋町3211番地5

■内容…無料相談

・難聴者相談

県身体障害者相談員(難聴者協会員)などが相談にのります。難聴で困っていることなど遠慮なく相談してください。

・補聴器相談

認定補聴器専門の方がアドバイスしてくれます。(聴力測定できません)

・その他…座談交流会、情報の展示など

■問合せ先…佐野市中途失聴・難聴者協会

TEL 0283(25)0057

FAX 0283(24)8160



「これまでの活動は、委員の間や関係機関など多くの人の協力があったてできたこと。今回の表彰は私一人ではなく、皆さんを代表していただいたようなもの」と話す志田浩子さん。人権擁護委員として、多年におよぶ貢献と功績がたたえられ、このたび法務大臣表彰を受賞されました。

平成10年10月に法務大臣の委嘱を受け、今日まで11年の長きにわたり人権擁護活動に携わってきた志田さん。現在は、町人権擁護委員協議会会長のほか、県人権擁護委員連合会副会長などを務めています。



●人権擁護委員として法務大臣表彰を受賞●

志田 浩子さん(羽抜本郷)

人権擁護委員の役割は、人権擁護や人権思想の普及啓発活動をはじめ、人権に関する相談役などさまざまです。「人権は、人が生きていく上で最も身近で大切な権利。かけがえのない命や思いやりの心の大切さを多くの人に伝えられれば」と人権の尊さを話します。

受ける相談は、家庭内での問題や近隣とのトラブルなどさまざま。相談者に対し、それらの問題を解決するための方向性を的確にアドバイスすることが求められます。「多様化する相談に人権を損なうことなく対処することの難しさになるよう誠心誠意をつくすことを心掛けています」と話します。

近年、日本での自殺者が年間3万人を超えていることに触れ、「身近な所にも悩みを抱えている人は多いように思う。小さなことでも一人で悩まず、遊びにくるつもりで気軽に相談してほしい」と話す志田さん。その優しさあふれる笑顔には、多くの人の心を癒やす志田さんの温かさが表れています。

たったひとつの命を大切にし、
みんなで仲良く明るく
過ごしましょう

文芸いわふね

俳句・小樽吟社 兼題「新米」

新米のおにぎり嬉しハイキング	麻生 杉女
新米の秋田小町と買うを	大沢みも女
新米の香りの中の卵かな	大阿久薫雄
米びつをのぞき新米来るを待つ	堀内 康弘
新米に話題を添えて盛られけり	池田 涼舟
新米をつみあげ狭き台所	川島とく女
新米に笑顔がうれし介護の手	とちぎみつこ
新米で尋ね来し客持て成しぬ	板倉 喜代
炊きたての湯気新米のにはいかな	林 秀代

解説

新米とは文字通り今年出来た取りたての新しい米である。新米と聞いただけでも、美しく白く輝く飯に新鮮さや旨さを覚えるものである。昔は、秋祭りを出来たての新米で祝ったもので、その感謝の米を神社や寺へ持ち寄って参る風習もあったようである。

池田 涼舟

■短歌・一般投稿

大平の神社で受けし健康を	熊倉 コウ
守るお札に下山たのしき	
災禍より五年越えし山古志に	
千年を継ぎし闘牛を見る	須藤 恵津子

宝くじ文化公演



「独演会」 桂三枝

- と き 平成22年1月24日(日)
13:30開場 14:00開演
- ところ コスモスホール(町文化会館)
大ホール
- 料 金 全席指定
2,000円(当日2,500円)
- チケット発売 11月15日(日)午前9時から
- 問合せ先 コスモスホール(町文化会館)
Tel (55) 7055

※宝くじ文化公演は、宝くじの収益金からの助成により、特別料金になっています。
※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。



一枚の写真



～町花で秋まつり～

「ふるさと古江21」は、地区社会福祉協議会との共催で10月12日(月)、「第3回チャリティコスモスまつり」を地元のコスモス畑で開催しました。(写真はエコ風船飛ばし)

豚汁や焼きそばなどが振る舞われ、子どもからお年寄りまで多くの人で賑わったコスモスまつり。この日集まった募金は、町社会福祉協議会に寄付されました。

スポーツで健康増進

町老人クラブ連合会のスポーツ大会が10月9日(金)、町総合運動場で開催されました。

誰でも気軽にできるスポーツを通して、健康増進を図るとともに老人クラブ活動の活性化を目的に毎年開かれているスポーツ大会。台風一過の晴天に恵まれ、町内21の老人クラブからおよそ400人が参加。輪投げ、アキュラシー、ホールインワンの3種目を行い、さわやかな汗を流しました。



輪投げを楽しむ参加者

広報いわふね

〈住 所〉
〒329-4392
栃木県下都賀郡岩舟町大字静5132番地2
TEL 0282(55)7753(企画課)
FAX 0282(55)4910
〈発 行〉岩舟町
〈編 集〉岩舟町役場企画課企画調整担当

人口と世帯数 (10月20日現在)

- 人 口……18,636人(内外国人…119人) 前月比-23人
 - ▶男……9,434人 ▶女……9,202人
 - ▶出生…… 6人 ▶死亡……12人
- 世帯数……6,252世帯